

令和6年度第1回富里市男女共同参画社会づくり懇談会
議 事 録

〈日時〉 令和6年9月27日（金）

午後2時00分～2時50分

〈場所〉 すこやかセンター2階会議室1

■出席者

【委員】 渡邊 薫（教育関係者）

國司 恵子（富里市商工会理事）

田口 実栄子（千葉県男女共同参画地域推進員）

吉見 和美（まちづくりコーディネーター）

小田 千賀子（富里市民生委員児童委員）

小澤 喜宏（公募委員）

【事務局】 山崎経営戦略課長、鈴木課長補佐、小澤主査、若梅主事

【傍聴人】 なし

■配布資料

- ・ 令和6年度第1回富里市男女共同参画社会づくり懇談会次第
- ・ 資料1 富里市男女共同参画計画（第3次）令和5年度進捗状況
- ・ 資料2 富里市男女共同参画計画（第3次）進捗状況調査票
（令和5年度分）

■ 次第

1 開会

2 座長あいさつ

3 議題

(1) 富里市男女共同参画計画（第3次）令和5年度進捗状況について

【事務局】資料1に基づき説明。

【委員】資料1の6ページで、男女共同参画パネル展の実施や性別による固定概念に縛られない意識の醸成等に取り組んだとあるが、その後の意識の変化について調査をすることで男女共同参画の推進が図られるのではないか。

【事務局】取組を行った際には、その視点を踏まえて考えていきたい。

【委員】資料2の1ページにある、「男性職員の育児休業取得の割合」について、0%の理由は。

【事務局】制度の周知はその都度行っているが、結果として取得する職員がいなかったため。

【委員】「地域活動の担い手の発掘や育成のための各種講座の開設」について、男女共同参画とのつながりは。

【事務局】担当課から、男女を問わず、地域活動に関心を持ってもらうためのイベントや、地域活動の担い手を発掘・育成するための各種講座を開催したという報告があった。

【委員】「管理的地位にある職員に占める女性の割合」が10.5%とあり、目標値は20%であるが、見込みはあるのか。

【事務局】係長級に占める女性の割合から見込んで、目標値として設定しているものである。

【委員】資料2の2ページにある、「情報共有会議の開催」について、誰と情報共有しているのか。

【事務局】DVに関するものについて、子育て支援課と学校教育課、健康推進課、児童相談所などで情報共有を行っている。

【委員】「外国人支援窓口への相談件数」について、令和5年度の件数が目標値を大幅に超えた理由は。

【事務局】外国人支援窓口は、令和5年度から開設したことで、相談件数が増えていると考えられる。

- 【委員】日本語教室の開講数は3教室とあるが、場所はどこか。
- 【事務局】富里北部コミュニティセンター、富里中央公民館である。
- 【委員】日本語教室は、市が直接行っているものではなく、市民活動推進課の登録団体が3教室行っているということではどうか。
- 【事務局】日本語教室は国際交流協会などが行っている。
- 【委員】資料2の6ページにある「相談体制の充実」について、各学校で学級担任との教育相談を学期に1回行い、効果として学級担任への相談が増えてきているとあるが、1回のみで本当に増えたのか。
- 【委員】教育相談員として各学校を回る中で、生徒からの相談等も受けており、詳細な数値は資料に記載されていないが、これらを踏まえて増えていると思われる。
- 【事務局】担当課と調整しつつ、もう少し詳細に書けるよう、次回以降検討していく。
- 【委員】資料2の7ページで、防災訓練の内訳として職員訓練を年3回実施し、参加者51名のうち女性職員は25名参加したとあるが、参加により男女共同参画の取組で変わったことがあるか。
- 【事務局】担当は防災課であるが、実際に防災訓練に参加したことで、女性だけで力仕事等を行うことが難しいと感じた。
- 【委員】子どもの頃からの男女共同参画意識がとても重要ではないかと思う。
- 【委員】学校教育に携わる中で、子どもの頃からの男女共同参画への意識は重要だと思う。しかし、男女共同参画といっても、どうしても平等にはいかないことがある。また、呼び方についても、〇〇君ではなく、〇〇さんと呼ぶことを意識している先生もいる。
- 【委員】男女共同参画とはいえ、できるものとできないものがあるので、できることから少しずつ変えていくべきだと思う。
- 【委員】ジェンダーにとらわれず、一人の人間として一人一人大事にするという教育が男女共同参画の根底にあるのではないかと思う。

4 その他

- ・事務局から男女共同参画川柳の結果について後日通知することを報告。
- ・委員から10月9日の男女共同参画地域推進員会議と北総GO・GOパートナーについて報告。

5 閉会